

ちょっとでいいので 学習履歴確認の勧め、と 語学教育における学習履歴活用



東北大学 データ駆動科学・AI教育研究センター
三石 大

学習履歴確認の勧め

■ オンライン授業を実施する皆さんへのお願い

◆ ちょっとでいいので、受講生らの学習履歴をご確認ください

- 学習につまづいている学生や、何らかの課題を抱えている学生がいることに気づける可能性があります

■ オンライン授業やLMSを運営する大学や組織等へのお願い

◆ 組織的な学習履歴の活用に向けたご理解、ご協力をお願いします

- 複数の授業での学習履歴を共有することで学生の状況や変化に気づける可能性が高まると考えられます

学習履歴確認の勧め

■ オンライン授業の課題の1つに...

◆ 受講生の様子が判りづらい

- オンデマンド型授業ではコミュニケーションの機会減
- リアルタイムでの遠隔授業でも受講生の顔が見づらい



◆ 受講生の学習状況把握困難

- 授業期間の途中での受講生の理解状況が判りづらい
- つまづいてしまっている学生がいても見逃してしまうことも



◆ 実はLMS上に残る学習履歴から判ることも多いはず

- しかし、いつでも確認できるため、つい後回しに？

学習履歴未確認による失敗事例

■ 学習履歴を確認すれば早期に防げたかもしれない事例

◆ 前期半ばに、コンピューターリテラシー系授業(必修)の受講生1名から未提出課題を今から提出できないか相談あり

- オンラインに馴染めず足(アクセス)が遠のいてしまった模様
- これまでの演習課題は全て未提出(LMS上で確認可)
 - 担当教員は課題提出状況を未確認だったため全く気づかず
- 当該授業科目だけでなく、他の授業科目でも同様の状態に
- 当該学生がアドバイザー教員に相談し、今回の連絡に至る
→ 幸い、その後の学習を挽回(よかった...)

学習履歴未確認による失敗事例

■ この事例から言えること

◆ 学習履歴を確認していれば、もっと早く対応可？

- 演習課題の提出状況の確認だけでも、何らかの問題を抱えていることを十分予想できた可能性あり
- 教材へのアクセス記録も確認できれば、さらに早期に気づけた可能性あり(注: 今回使用していたLMSでは確認不可)

◆ 自動でアラートを出す仕組みがあるともっとよい？

- 未アクセス状況が継続した場合など、担当教員宛にアラートがあるとよいのでは？
- 複数の授業科目に共通してアクセスがない場合には、担当教員だけでなく教務係宛などにアラートがあるとよい？

→ 学習履歴の組織的な活用ができることの必要性

語学教育における学習履歴活用

■ 初習中国語授業における学習履歴の活用

- ◆ 東北大学では学部1年生を対象とした一部の中国語の授業でスマホアプリによる復習を実施
→ スマホアプリによる復習状況を記録
- ◆ 担当教員自身が受講生全体の復習状況の確認や、個別の受講生の復習への取り組み状況等を定期的
に目視確認
- ◆ 次回授業での振り返りや授業進度の調整の参考

語学教育における学習履歴活用

■ 大学初修外国語教育における課題

- ◆ 学生にとって必ずしも優先順位が高いわけではない
 - 語学学習では復習と継続的な練習が必要だが、不十分
- ◆ 多くの場合、1名の教員が複数(多数)のクラスを担当
 - 授業期間中の受講生の理解/習得状況等の把握困難
 - クラスによる違いが感じられても具体的な根拠データなし



◆ スマートフォンを活用したブレンド型授業の実践

- 2017年～、毎年7クラス、計150～250名/年を対象
- スマホによる学習履歴を確認しながら授業を進行

[1] 趙 秀敏 他: 大学初修中国語ブレンディッドラーニングのためのスマートフォン利用復習教材「KoToToMo」の開発と実践, 教育システム情報学会誌 (2019).

語学教育における学習履歴活用

■ 3段階学習プロセスによるブレンド型授業

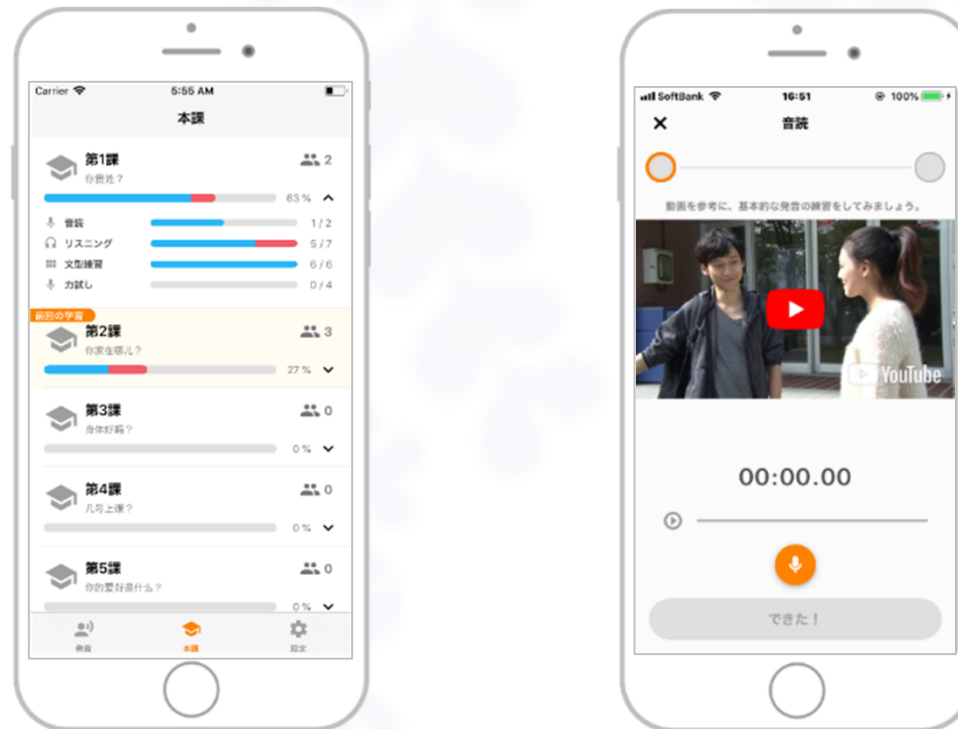


◆ 本年度前期の授業では...

- 段階1: 対面授業にかえて昨年度に撮影した授業ビデオを利用したオンデマンド学習
- 段階2: スマホアプリによる復習(通常期同様)
- 段階3: リアルタイムでのオンライン授業

語学教育における学習履歴活用

- スマートフォンアプリによる復習教材
 - ◆ インストラクショナルデザインにもとづく教材設計
 - ◆ マイクロラーニングによるスキマ学習



語学教育における学習履歴活用

■ 学習状況の視覚的確認

◆ 受講生一覧の学習状況(時間・頻度)の確認

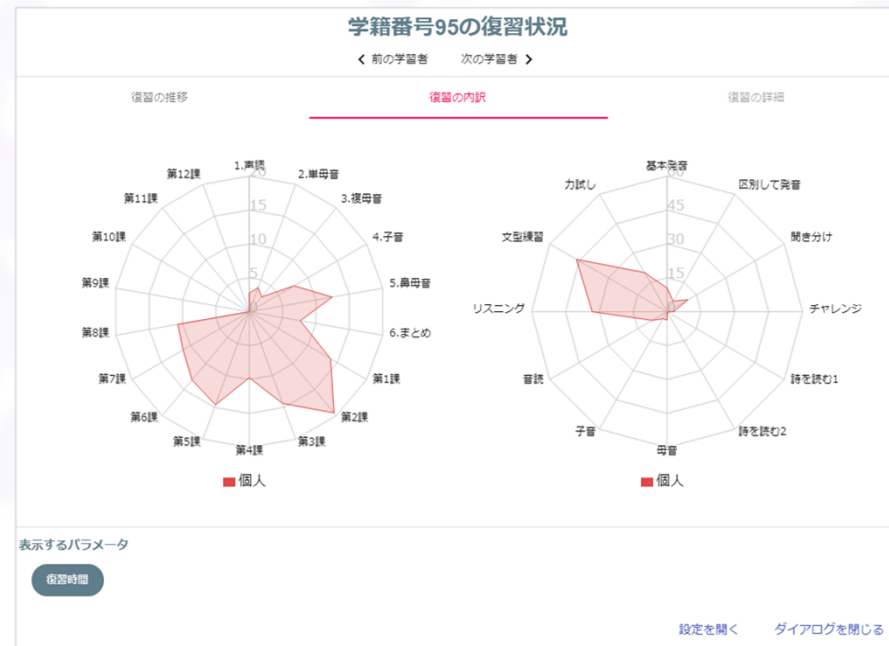


■ 学習状況の視覚的確認

◆ 個別の受講生の学習状況の確認



学習時間の時系列推移



単元別 / 項目別学習時間

語学教育における学習履歴活用

■ ブレンド型授業における復習状況の確認

- ◆ スマホアプリによる復習履歴を記録
- ◆ 学習履歴を担当教員自身が容易に確認できる専用ツールを提供



- ◆ 受講生全体の復習状況や個別の学習者の復習状況の直感的な把握可能
- ◆ その後の授業進行の参考にできることを確認
 - 授業進度の調整や要確認事項の把握
 - 注視すべき受講生の存在の確認

まとめ

- オンライン授業や大人数授業では個別の受講生の様子の把握が困難
- LMS等を利用している場合、学習履歴を確認するだけでも気づけることは多い
- 異なる授業科目や複数のクラスを俯瞰することでさらに気づけることも
 - ◆ 組織的取り組みの必要性
- 担当教員自身が容易に利用可能な確認ツールがあると便利に
 - ◆ 授業内容に応じた分析ツールの必要性